

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 24 日(2022.6.24)

【公開番号】特開 2021-182135(P2021-182135A)

【公開日】令和 3 年 11 月 25 日(2021.11.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-057

【出願番号】特願 2021-82298(P2021-82298)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02(2006.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/02 C

B 3 2 B 7/023

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 15 日(2022.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

防眩層を有する防眩フィルムであって、前記防眩フィルムは凹凸表面を有し、
前記凹凸表面は、三次元平均山間隔 Smp が $2.524\mu m$ 以上 $8.228\mu m$ 以下であ
り、

前記凹凸表面の標高の振幅スペクトルに関して、空間周波数がそれぞれ $0.005\mu m^{-1}$ 、 $0.010\mu m^{-1}$ 、 $0.015\mu m^{-1}$ に対応する振幅の合計を $AM1$ 、空間周波
数 $0.300\mu m^{-1}$ における振幅を $AM2$ と定義した際に、 $AM1$ が $0.070 \sim 0.400\mu m$ であり、 $AM2$ が $0.0050\mu m$ 以上であり、かつ、 $AM2 < AM1$ であり、
空間周波数 $0.005\mu m^{-1}$ に対応する振幅を $AM1-1$ 、空間周波数 $0.010\mu m^{-1}$ に対応する振幅を $AM1-2$ 、空間周波数 $0.015\mu m^{-1}$ に対応する振幅を $AM1-3$ と定義した際に、 $AM1-1$ が $0.020 \sim 0.150\mu m$ 、 $AM1-2$ が $0.020 \sim 0.145\mu m$ 、 $AM1-3$ が $0.020 \sim 0.145\mu m$ である、防眩フィル
ム。

30

【請求項 2】

$AM2$ が $0.0055 \sim 0.0550\mu m$ である、請求項 1 に記載の防眩フィルム。

【請求項 3】

$AM1 / AM2$ が $1.0 \sim 60.0$ である、請求項 1 又は 2 に記載の防眩フィルム。

40

【請求項 4】

JIS K 7136:2000 のヘイズが $60 \sim 98\%$ である、請求項 1 ～ 3 の何れかに
記載の防眩フィルム。

【請求項 5】

前記防眩層が、バインダー樹脂及び粒子を含む、請求項 1 ～ 4 の何れかに記載の防眩フ
ィルム。

【請求項 6】

前記防眩層の厚みを T 、前記粒子の平均粒子径を D と定義した際に、 D / T が $0.20 \sim 0.96$ である、請求項 5 に記載の防眩フィルム。

【請求項 7】

50

前記粒子の平均粒子径 D が $1.0 \sim 5.0 \mu\text{m}$ である、請求項 5 又は 6 に記載の防眩フィルム。

【請求項 8】

前記バインダー樹脂 100 質量部に対して、前記粒子を 40 ~ 200 質量部含む、請求項 5 ~ 7 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 9】

前記粒子が有機粒子である、請求項 5 ~ 8 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 10】

前記防眩層が、さらに無機微粒子を含む、請求項 5 ~ 9 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 11】

前記バインダー樹脂 100 質量部に対して、前記無機微粒子を 40 ~ 200 質量部含む、請求項 10 に記載の防眩フィルム。

【請求項 12】

前記バインダー樹脂が、電離放射線硬化性樹脂組成物の硬化物及び熱可塑性樹脂を含む、請求項 5 ~ 11 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 13】

前記凹凸表面は、三次元算術平均粗さ S_a が $0.30 \mu\text{m}$ 以上である、請求項 1 ~ 12 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 14】

透明基材上に前記防眩層を有し、前記防眩層の前記透明基材とは反対側の表面が前記凹凸表面である、請求項 1 ~ 13 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 15】

前記透明基材が、ポリエステルフィルム又はトリアセチルセルロースフィルムである、請求項 14 に記載の防眩フィルム。

【請求項 16】

前記防眩層上にさらに反射防止層を有し、前記反射防止層の表面が前記凹凸表面である、請求項 1 ~ 15 の何れかに記載の防眩フィルム。

【請求項 17】

表示素子上に、請求項 1 ~ 16 の何れかに記載の防眩フィルムの前記凹凸表面側の面が前記表示素子とは反対側を向くように配置してなり、かつ前記防眩フィルムを最表面に配置してなる画像表示装置。

10

20

30

40

50